工業つ子

No. 123
—発行日—
2015. 12. 03
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

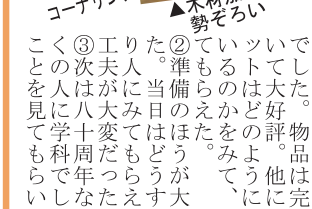
皆で創った盛り上げた

平成２７年度工業展

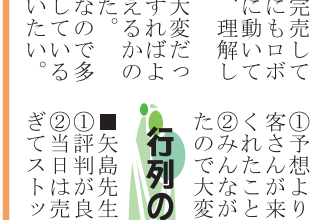
十月三十一日、十一月一日に開催された工業展。二日と大盛況でした。当日の様子や感想を各学科の先生と生徒に聞いてみました。

▼電気でウエルカム！

▲レベルの高い展示（D実習室）



▼ナイスコーナリング！



▲木材加工の技、勢ぞろい

魅せた！工業の技 各学科編

～先生インタビュー～
①お客さんの反応
②二日間で大変だった事
③次回に向けて

～生徒インタビュー～
①当日良かったこと
②大変だったこと

爆走！ゴーカート M科

■岩田先生
①ゴーカートが人気。傘たては即完売だった。
②特にありませんでした。
③来年の課題研究から計画的に準備をしていきたい。

ワクワクドキドキ進水式 P科

■野崎先生
①進水式をみて楽しそうでした。物品は完売していて大好評。他にもロボットはどのように動いているのかをみて、理解してもらえた。
②準備のほうが大変だった。当日はどうすればより人にみてもらえるかの工夫が大変だった。
③次は八十周年なので多くの人に学科でしていることを見てもらいたい。

■海端　将太君
①自分たちの作った物を使ってもらったりして、ものづくりの楽しさが分かった。
②残業があり大変だった。

▼発進！進水式（P）

▲大人気！C科特製リンゴ飴

電気であそぼ E科

■西村先生
①景品が初日の早い段階で不足するくらい人気だった。特にエアホッケーが好評でした。
②生徒が考えて動いてくれたので苦労しなかった。
③八十周年なので大幅なイメチェンを図りたい。

■蒔添　隼也君
①際に勝て、際を知った。
②際の勝負。

行列の先は… C科

■堺　健太君
①予想よりたくさんのお客さんが来て、楽しんでくれたこと。
②みんなが協力してくれたので大変じゃなかった。

■矢島先生
①評判が良くて売上上々。
②当日は売れ行きが良すぎてストックが全然足りなかったこと。
③今年以上の盛り上がりを見せる！

■小坂　千尋さん
①楽しそうでした。
②準備が大変で、遅くまで残ってました。

匠の技ここに極まれり A科

■大槻先生
①とても喜んでもらえた。たくさんの人に買い物をして貰い、毎年でも買いに来たいといわれた。
②準備の時間の不足。
③早めに計画をたてて製作・展示を一般の人に喜んでもらえる工業展にしたい。

■中山　真人君
①幅広い世代の方々が興味深そうに展示を見てくださったり、自分たちが作った品物が大人気だったこと。
②初日に大勢の人が来たのでとても忙しかった。

▲圧倒的存在感！

子供を惹きつける魅惑の一品 I科

■松元　海舟君
①買ってくれたお客さんが出来が良いと言ってくれたこと。
②たくさん怒られながら夜遅くまでしたこと。

■北川先生
①始まる前から行列ができるなどI科の知名度が高まって来ている。特に子供たちに反応がよく、大評判でした。
②一度に多くのお客さんが来たので大変だった。
③小物が早く売れてしまったので、授業の実習以外でもたくさん作り準備したいと思った。

お手製機械教室 D科

■倉本先生
①去年よりも少なかった気がする。

プログラミングの鬼 J科

■濱口　陸君
①展示物のレベルが高くてどの科よりも盛り上がった。
②展示場の飾り付けと、可愛い子の呼び込み。
③次は八十周年だから今の一年生に新たな伝統を作ってもらいたい。

■山口先生
①一階・くつろいでいた。二階・盛り上がっていた。三階・なにこれ四階・はまっていた。
②作品を直前に仕上げた。
③大きな物を動かします。

■境　誠君
①よく楽しんでくれた
②お客をいかに効率よく捌けるか。
—どの科も準備も当日もお疲れさまでした。

今日の一枚 ～果てしなく～

▼折り紙折りの永久機関 !?

工業展も期末テストも終わり、年の瀬が迫ってきました。

さて、今回の写真は第三回チキチキ新聞部薔薇折りレースの様子です。ルールは簡単で、工業展の展示に使う薔薇をどれだけ早く折れるかを競います。どうせ折るならこっちのほうが楽しいだろうという軽い気持ちで始まりました。が、部長が強いの何の。五分で完成です。勝負事に関して部長に勝てるものは今、この部には誰もいません。求む、挑戦者！（溝上）

様々な五感を凝らしてクラス新聞

今回は一・二年生だけの実施となったクラス新聞。上位三クラスインタビューです。

①自己評価
②苦労したこと
③制作秘話
④ライバル
⑤新聞部入りませんか

最優秀賞 I2

①九十点
②一人一人の顔写真にハロウィンの仮装をした体を作ったこと。
③顔写真と自分たちの作った体を組み合わせて遊んだこと。
④インテリア科一年。
⑤すみません。

優秀賞 I1 C2

I1
①まあまあ。
②ゴミが問題。
③次は八十周年だから今の一年生に新たな伝統を作ってもらいたい。

C2
①先生とクラス全員で仕上げられたのが良かった。
②去年が失格だったので目立つようにした。
③夜の八時まで残って仕上げたこと。
④インテリア科。
⑤水球部なので…。

▲立体的なＩ２新聞

②コーナーを作ること。最初の方から内容で苦戦。結果的にはちゃんと完成できて良かった。
③字をマスキングテープで作るのが、細かい作業で頑張りました。
④建築科一年。
⑤難しかったので…。

青春日記

工業展を終えホッと一息つきたい所でしたが、翌日見事に身体にだるさを感じ、ダウン。熱は出るわ、喉は痛いわで３日間お布団の守護を務めました。

三日後。「さいたコスモス、コスモスさいた」謎の呪文を唱えるクラスメイトに衝撃を受けました。この呪文は、私が休んでいる間に数学の先生から教わったそうで、sin・cosを用いる公式の暗記に効果が高いのだとか。しかし高校二年生の内容を、頭の中お花畑で解決できんの？—さらに２日後。「いちプラスたんぶんの…」tanの公式特効呪文を唱える私がいました。これでテストは楽勝だぜ！

話は変わって、先日の事。帰宅途中にとある整骨院にて気になる言葉を見かけました。「酸素カプセル始めました！」見た瞬間、全身に電流が走りました。なんだ酸素のカプセルって。入るのか、入っちゃうのか！？もしかしてカプセルの中は、アルプスの名峰から取り寄せた澄んだ空気が。「ハイジ～」「ペ～タ～」…危ない、想像が暴走して幻聴が聞こえてきた。やはり、未知すぎて踏み出すことができないい。どなたか経験者がいたらぜひ感想を聞かせていただきたい。

十二月に入り、朝晩の冷え込みが一段と厳しくなりました。「あったかぁ～い」の飲み物が手放せないです。おかげで財布は「つめた～い」です。（松尾）

時間は作るもの

「時間がない」—このことば、言った経験、聞いた経験はありませんか。かつて、私は約束を時間がないからという理由で断ろうとしたことがあります。そのとき友達から「時間は作るもの」と言われました。

そこで自分を顧みてみると、時間がないと言いつつも実は「無駄にしている時間があるのでないのか」ということに気づいたのです。課題をやらなければならないのに気晴らしにとゲームをしたり、友達と談笑したりして、そちらの時間が長くなったりしていました。

それはさておき、世の中には「無駄」や「遊び」が必要なことがあります。もし、機械に「遊び」の部分がなかったら壊れます。心に余裕がなかったら、あわてて空回りして、失敗したり、トラブルが起きたりします。

本来のことから見ると無駄な時間に見えても、別の角度から見ると、有意義で必要な時間であることがあります。大事なのはバランスです。たとえば、仕事をする中での「息抜き」。これを「仕事をしていない」と見れば、無駄な時間のように見えます。しかし、仕事の効率を上げたり、新しいアイディアを出したりするために不可欠なものです。かといって息抜きばかりでは仕事ははかどりません。

バランスをとるためにはスケジュールを立てることが大事です。なぜなら、スケジュールを立てることで漠然としていた「するべきこと」がはっきりとし、目指すところが見えてくるからです。

することに自然に優先順位がつきます。すると、「時間」と効率的にかつ友好的につきあうことができるのです。

時間に余裕ができると、心にも余裕ができます。自信もついてくるのではないでしょうか。「時間がない」—そう言う前に自分を振り返ってみましょう。（草場）

各部の特技を活かして

各部活動も展示やさまざまな催しで日頃の活動の成果を発表。準備期間中や当日の様子をインタビューしました。

質問内容
①良かったこと
②大変だったこと

文化部

■**美術部**
①多くのお客さんが来てくれた。
②飾り付けとその補修。

■**科学部**
①「竜巻」が凄く人気で楽しんでもらえたこと。部員できちんと対応できたこと。ペットボトルロケットはリピータがたくさんいて嬉しかった。
②少ないお客で場を回さなければいけなかったこと。

■**茶道部**
①お客さんが予想以上に来て、満席になった。
②お茶わんを洗うこと。

■**放送部**
①オープニングムービーでみんなが笑ってくれた。
②徹夜での編集。

■**写真部**
①多くの人が来てくれた。
②皆が写真を楽しめるようにいろんな写真を集めたこと。

■**囲碁将棋部**
①思ったより人が来た。
②準備がばたばたして前日になったこと。

■**英語部**
①自分たちの練習の成果を出せた。
②英訳。

▶茶道で味わう日本の心

▼科学の力に驚く

工業技術部

■**電気通信部**
①日々の成果を皆に見てもらえた。
②スペースが狭く設置するのが大変だった。

■**建築研究部**
①売り物はほぼ売れたし買ってくれた人が嬉しそうだったので、こっちも嬉しかった。
②準備期間にクラスの準備と重なって、一年生には負担をかけてしまった。

■**デザイン部**
①多くの人がかわいいと言いながら買ってくれた。
②始まってすぐに沢山の人が来て対応に困った。

先生も生徒も大活躍!!!
～ステージ部門～

工業展ではステージ発表も2日間。クラス劇やブラスバンドの演奏などで盛り上げてくれました。無事発表を終えた彼らに今の気持ちをインタビュー。意外な話も聞けました。

▼粛清

質問内容
①出来
②苦労したこと
③制作秘話
④本番のハプニング

歌とダンスと…「1ステ」E3

①百点満点とは言えないが感動は与えられたと思う。
②ダンスの内容は昨年よりもグレードを上げ、隊形も工夫した。
③意見が食い違って大変なこともあったけど、本番では楽しくできた。
④ペンライトを折る前に色がわからなく、一人出遅れたこと。

映像も上手く使って 劇「寄生獣」C2

①ばっちり。百点です。
②先生たちと絡むシーンでなるべくミスをしないようにすること。
③カーリーがフリーダムすぎて何度も撮り直したこと。
④開始から二言目にはセリフが飛んでしまって会場が静まり返ったこと。
※決して演出ではありません。

▶予想の斜め上をいく「1ステ」

愉快にミュージカル「テルマエエドエ」E2

①昨年よりはクオリティが高かった。石村先生のおかげです。
②主役が前日に怪我して変わったこと。
③一年前から温めていた台本が遂に完成した。
④電気工事の場面で電気がつかなかったこと。

今年もやりました 壮大な演奏会 吹奏楽部

①みんな楽しんでいて良かった。
②先生方への出演交渉。
③衣装は全て先生方の自前です。
④ステージ上で先生が照明の指示を出していたこと。

▼ブラスで歌って踊って♪

新聞部も努力の結晶を展示

我々はLL教室と渡り廊下での新聞の展示と、例年通りバラアートやスライドショーを行いました。今年のバラアートはかぼちゃをバラで作り、お客さんに大好評でした。保護者の方々の来場が多く、「私たちの知らない長工が工業っ子で分かるので助かります」とのコメントも頂きました。

▶ジャック・オー・バランタン！

感性を豊かに 芸術鑑賞会

工業展前日の十一月三十日。三年に一度の芸術鑑賞会がありました。今年は東京の劇団員の方たちが「ベニスの商人」を見せて下さいました。そこで責任者の平塚仁郎さんにお話を伺いました。

―長工で演劇を披露して生徒さんたちの感性が豊かだと思った。

気持ちよくできた。やってて楽しかった。演劇とは見ている人と我々の戦い。作り上げるまでは大変だけど、今日の皆さんみたいに反応が良いと良い仕事をしていると実感する。

―こだわり

例えば、年に一回研修をして素晴しい演劇を見せてくださった劇団の方々。「面白く、テーマが確かなものを、観客と作り上げる」をモットーに全国各地を回られているそうです。これをきっかけに将来、皆さんも演劇を見に行ってみてはいかがでしょうか。

―青少年にこそ最高の演劇を

中高生に面白くないと思われたら、その子はもう二度と演劇に興味がなくなってしまう。だから責任が重い。

今回、さまざまな工夫

▼プロの心意気を語る

▲プロの演劇に圧倒される。

いろいろな所で盛り上がりました 大合唱・E2

二日にわたって行われた工業展。行列が絶えなかったP2、A2の「お化け屋敷」や大盛況だった育友会の方々による心のこもった食物バザーのカレーやうどん。この紙面に掲載できませんでしたが、様々な場所で盛り上がりを見せていました。来場者数は累計二千人を超えるほど。八十周年の工業展ではこれ以上に盛り上げたいものですね。

▶出演者全員で大合唱・E2

工業展!!! てふ工生！！！ パート②
～カレーもうどんも…の巻～

※来年は早めに並ぼうね

一年生な☆日々

最近一段と肌寒くなったと感じる今日この頃。前回「一年生な日々」を書いたのは、夏休み後半。二度目の今回は「工業展」終了後。どうやら私は話題性に溢れた時期に書く定めのようです。（↑まだ二回目）まぁ冗談はここまでにして、知っている人はいると思いますが、本来は三年に一度の「工業展」を私たち一年生は、なんともう一度体験する事ができます！これはなんと喜ばしいこと。二年後、成長した私たちが中心となってどんな工業展を創るのか、とても楽しみです。新聞部の出し物は一体どうなるのでしょうか。薔薇折りを続けているのか、それとも…。何はともあれ、乞うご期待！

さて話は百八十度ぐるりと変わります。いよいよ本格的な「冬」になってきました。「冬」から連想されるものといえば雪、炬燵、おでん…などなど。「冬」という季節はとても魅力的です。私自身も先日、祖母のお家におでんを食べに行きました。実は私、おでんを食べるのはおよそ二年ぶり。ちくわに大根、卵にこんにゃく、永らく忘れていたこの味。毎日の勉強と新聞部で磨耗していた心と身体に染みわたり、何倍も美味しく感じられました。（武石）

編集後記

工業展も終わり、二学期も残すところあとわずか…。期末テストも終わり気も緩みがちですが、最後まで気を抜かず残りの二学期を乗り切りましょう。新聞部も薔薇地獄から逃れたので紙面に精を出していきたいと思います。